

# 総合病院ならではの健康診断

## 5大がん 胃がん 大腸がん 肺がん 乳がん 肝がん + 脳

万が一病気が見つかった場合でも、  
当院ですみやかに適切な診療が受けられます

### 内視鏡検査(胃・大腸カメラ)

胃がん・大腸がんは早期の自覚症状に乏しく、進行しても症状があらわれにくいがんです。初期の症状も「何となく不快感がある」「一時的な痛みがある」などで、病院にはかからないことが多く、見逃しがちです。



### 胸部CT検査

胸部レントゲン検査では、肺がんは発見しにくいものです。喫煙者であれば、肺がん罹患するリスクは4倍以上といわれています。過去に喫煙歴がある方にもお薦めする検査です。

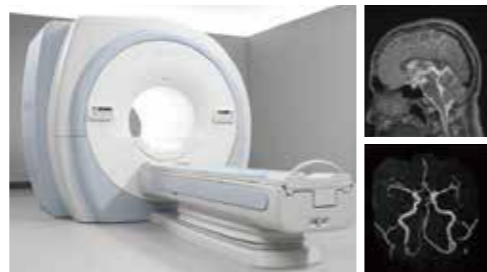


### オプション検査(一部)

- 腫瘍マーカー**
- ・肺【シフラ・ProGRP-SLX】
  - ・消化器【AFP-CA19-9-SCC】
  - ・婦人科【CA125-SCC】
  - ・前立腺【PSA】
  - ・乳がん【CA15-3】
- 血液検査**
- ・ピロリ菌抗体検査
  - ・甲状腺検査

### 脳ドック(頭部MRI・MRA検査)

脳卒中は死亡原因として常に大きな割合を占め問題とされています。会社で毎年健康診断・人間ドックを受診しながら、あるいは人一倍健康に気を遣いながらもある日突然倒れてしまうケースは少なくありません。頭部の専門的な検査は、通常の健康診断等では補えないことです。



### マンモグラフィー(乳房X線検査)

乳がんの初期所見のひとつである微細な石灰化を検出し、早期発見をすることが目的です。マンモグラフィーは、2枚の板の間に乳房を引き出して挟み、圧迫し薄く伸ばして撮影します。これは、検査条件を整え、正確な診断を得るためですが、圧迫により痛みを伴うことがあります。



以下の項目に該当される方は、検査を受けられませんのでご了承下さい。

- ・心臓ペースメーカーを装着している方
- ・豊胸手術を受けた方
- ・妊娠中または妊娠の可能性がある方

また、以下に該当される方は検査に適さない場合がありますので、ご来所時にご相談下さい。

- ・月経前のホルモンの影響により乳房が張り、現在痛みのある方
- ・胸郭変形のある方



### 東京品川病院

TEL:03-3764-0511(代)  
〒140-8522 東京都品川区東大井6丁目3-22



東京品川病院広報誌 2020.Winter

### Contents

- 02.透析センター・内視鏡室リニューアル
- 03.CT・血管造影装置新規導入
- 04-05.SAKURAMICHİ\*NEWS
- 06.リハビリテーション科からのお知らせ
- 07.患者支援センターからのお知らせ



▲広々としたラグジュアリーな内部

## スポーツ外傷後に!!

- 肉離れ
- 靭帯損傷
- 打撲
- 骨折
- 捻挫

## 高気圧酸素治療装置

### アスリート 応援

キャンペーン中!  
~2020年9月末まで

スポーツ外傷の  
高気圧酸素療法  
予約・受付等詳しくは右記まで  
お問い合わせください

平日 9:30~16:30  
03-3764-0511(代)



Hyperbaric  
Oxygen  
Therapy

医療法人社団 東京目樹の会  
**東京品川病院 総合健診センター**  
URL <http://tokyo-shinagawa.jp/>  
電話受付 予約 平日 9:30~16:30 ☎03-3761-4260

東京品川病院の  
**SNS**  
始めました

東京品川病院【公式】

tokyoshinagawahp

@t\_s\_hp

様々な情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします。

# 新・透析センター のご案内



透析センター長  
李 哲雄

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
このたび、透析室の増床移設工事を行い、『透析センター』として本稼働する運びとなりました。

透析患者は脳血管・心血管の合併症が出現することがあり、初期治療を早期に行う必要が生じる場合もあります。さらに多岐にわたる合併症を有している方が多いのも特徴の一つです。

当院では脳神経外科・循環器内科・血管外科とも連携をはかり、救命を要する場合でも対応可能な病院です。

また高齢化に伴い「車椅子・寝たきりの透析患者」が増加しています。「車椅子・寝たきりの透析患者」にならないよう、透析中にセラピストによるリハビリ介入を行い、皆様のQOL※の向上を目指してまいります。

※「Quality of Life (クオリティ・オブ・ライフ)」の略称で、日本語では「生活の質」をさします。



## CT 装置リニューアル

Computed Tomography



救急外来用のCT装置としてGE社製最新型64列CTを2019年12月に導入しました。

この装置の最大の特徴として内蔵された人工知能(AI)による検査補助があります。従来検査技師が行っていた操作の一部をAIが行うことにより検査時間を短縮し、患者様の負担を低減できるものです。迅速な検査が必要な救急の現場において非常に有用な装置だといえます。また従来では検査の障害となっていた体内金属の影響も最小限に抑える機能も内蔵し、様々な手術による治療後の患者様にも精度の高い検査を行うことが可能となりました。



## 内視鏡室が リニューアルされました

内視鏡室では、患者様や受診者様のより安全・安心な内視鏡を提供できるよう、検査室内のリニューアルを行いました。これまで非常に狭かった中待合を開放的な空間に変更し、スタッフが検査室・リカバリー室に迅速に動けるような導線に加え、スタッフに声をかけやすいようなステーションを配置しました。また、リカバリー室もリクライニングチェアを導入し、「苦しい・つらい・もう受けたくない」内視鏡から、「あれ・いつの間に・これならまた受けたい」内視鏡にできるよう努めています。また、洗浄室の拡張と洗浄器の一新を行い、これまで以上に清潔な環境で、安全な内視鏡を提供していただけるよう努めて参ります。「内視鏡技師(内視鏡専属のスタッフ)」が徹底して内視鏡室を管理しております。内視鏡技師が専属で管理していることにより、内視鏡に使用するファイバーの品質・検査の質・高度な治療をご提供することができます。医師の説明でわからなかった点、内視鏡検査を受ける前後の不安、治療に関する疑問など、内視鏡に関するどんな些細な疑問に対しても、専任技師が丁寧にご説明いたします。お気軽に内視鏡検査を受けていただくとともに、疑問点は何なりとお問い合わせください。



## 血管造影 装置を導入しました



頭部・全身用の血管造影装置を昨年1月に導入しました。心臓の血管治療や不整脈治療、脳血管治療においては1度に2方向からの撮影が可能のため検査による被曝が減り、造影剤の使用量の軽減、検査時間も短縮されました。また血管の3D画像の作成やCTのような画像も撮影することができ、より正確で安全な検査、治療が可能となりました。この装置を使って急性心筋梗塞、急性脳梗塞、消化管出血などの緊急性の高い治療も24時間体制で行っています。

## 世田谷記念病院の 患者様の受入れについて

10月12日(土)に日本に上陸した台風19号は、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。この台風の影響で多摩川が氾濫し、世田谷記念病院では、5階建ての建物の1階部分が水に浸かり、周辺の道路も冠水。都の職員や自衛隊が派遣され、約160人の入院患者の転院先を調整し、都内や神奈川県内のおよそ15の病院で受け入れました。東京品川病院では、10月13日(日)に回復期リハビリテーション病棟と療養病棟の入院患者計23名の転院受け入れを行い、病院の救急車や公用車を使用し、何度も往復して患者様を搬送しました。世田谷記念病院に行った職員によると、1階の床には泥水が溜り、他の病院の職員や自衛隊などでごった返していたそうです。朝から開始した患者様の受け入れは、夕方までに何とか無事に終了。受け入れた患者様はその後、移送による体調の変化などを確認したうえで、グループのリハビリテーション病院や他病院への転院、自宅や施設への退院などの調整を行いました。患者様やご家族からは「あの状況で受け入れてもらって本当に助かりました。」ととても喜んでいただき、世田谷記念病院からも副院長と看護師長がお礼に来られました。災害時の情報が限られた中での受け入れは本当に苦労しましたが、大変貴重な経験となりました。



## 眼科リニューアルOPEN

2020年2月17日より、1階から2階へ移り、リニューアルオープンいたしました。診察室を1診から2診に増設し、予約枠を増やすとともに、当日直接ご来院いただいた患者様の待ち時間を短縮して診察できるようにいたしました。また、週に2回だった手術日が、月・水・木曜日の週3回に増えました。引き続き、日帰りや1泊2日の白内障手術などをご案内できるよう努めてまいります。リニューアルに伴い、新たにヘスコージメーター (Hess赤緑試験) を導入しました。転倒などの外傷によって、物が二重に見える場合、眼を動かす筋肉や神経系に異常がないか検査を行うことができるようになりました。在常勤医師2名、視能訓練士2名、看護師1名、受付1名の体制で、今まで以上に地域の皆様に貢献できるよう診療を行ってまいります。眼のことならどんなことでもお気軽にご相談ください。



## テレビ放映されました

NHKの生活情報番組『あさイチ』において、副院長で治験開発研究センター長の新海正晴が取材を受け、放映されました。『あさイチ』はNHK総合にて毎月曜～金曜の午前8時15分～9時54分に全国に生放送されている生活情報番組です。(MCは博多華丸大吉と近江友里恵アナウンサー)今回は、「長引くせき」についての特集で、家庭の身近なところで行える見分け方や医師に伝えるとよいポイント、苦しいときの咳の緩和方法などをご紹介します。当院は、その中の、「せきの原因は意外なことでも起こる」ということをお伝えするテーマに撮影協力しました。患者様のインタビューと再現VTRでせきの意外な原因を伝え、新海先生のインタビューも放映。撮影は10月に当院の外来診察室や健診センターで行われました。



●TV出演「なにが原因?長引くせき」 2019年11月13日(水) 8:15~9:54 NHK総合「あさイチ」

## 歌の会 クリスマス ver

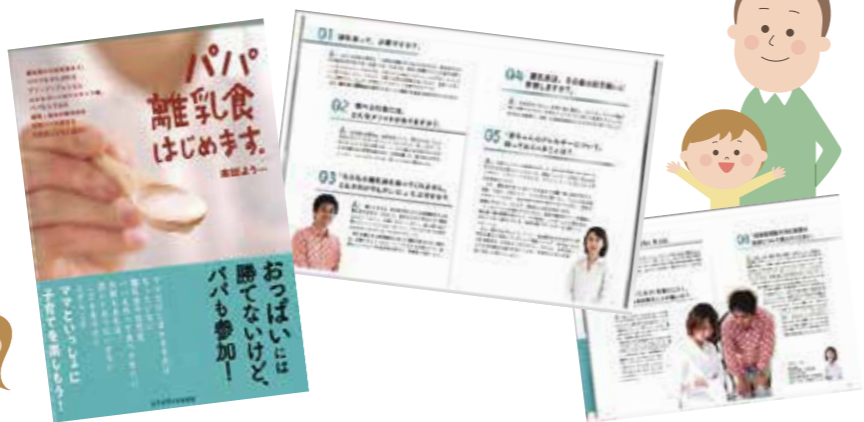
令和元年12月24日(火)、回復期3階病棟、4階病棟でピアノの藤井はるみ先生による『歌の会 クリスマスver』が開催されました。各階の患者様、スタッフを含め大勢の方が参加されました。会に合わせて患者様、スタッフで協力して壁、天井の装飾品の作成や手作りのタンバリン、カスタネット、楽器等を用意し当日は素敵な音色と大合唱で大いに盛り上がりました。また、今回が初となる藤井はるみ先生のピアノと病棟スタッフとのギターセッション、入院患者様による、ピアノ演奏も行い様々な方々から好評の声を頂戴しました。毎月第2金曜日、第4木曜日の14時30分から2号館3階病棟、15時15分より2号館4階病棟で開催しておりますので、ご家族の方も音楽を聴き、大きな声を出してみてはいかがでしょうか? お待ちしております。



## インタビュー掲載のお知らせ

小児科部長 大熊美雪先生

書籍名:「パパ離乳食をはじめます。」  
出版社:女子栄養大学出版部  
発行:2019年12月5日  
著者:本田よう一  
題名:「離乳食ってなんですか?」  
対談インタビューコーナー



## 内視鏡室のご紹介

内視鏡室では対外的に様々な学会発表・論文作成・執筆活動等の広報活動を行っております。

消化器医師・呼吸器医師の活躍だけにとどまらず、当院内視鏡室では技師や看護師も積極的に内視鏡に関する様々な学会報告や執筆活動を行っております。昨年度活動実績に関しましては、内視鏡室内の掲示やホームページをご参照ください。積極的な学会発表や執筆活動は、内視鏡に関する最新情報の取得や発信だけでなく、医療従事者としてのやる気と笑顔に現れると思います。是非、やる気と笑顔に満ち溢れた内視鏡スタッフの介助のもと、安心して内視鏡検査をお受けください。



# リハビリテーション科 からのお知らせ



雨風に負けず  
全力で  
伺います!!



訪問リハビリスタッフ



あはは  
うふふ  
訪問リハビリテーションを  
始めました!



▲訪問前のスタッフ

令和元年11月1日より、訪問リハビリテーションを開始しました。訪問リハビリテーションとは、実際に利用者の方の自宅に訪問し、住み慣れた場所で、その人らしい生活が送れる様にリハビリを行います。

また、社会の中で、それぞれの方が生きがいを持ち豊かに生きるための生活の実現を図っています。

訪問エリアは品川区・大田区にお住まいの方を中心とし、当院を退院された方・外来通院中の方で、要介護・要支援の認定を受けている方を対象としています。

現在、理学療法士2名・作業療法士1名で訪問を行っています。電動自転車の快適さに驚きながら日々、走り回っている所です。



まっががっが

利用者の方は入院中に見る表情とまた違った一面を見せて下さる事が多くあり、毎週会うたびに元気になっていく過程に携わせていただき、とてもやりがいを感じています。

今後も地域に根ざした訪問リハビリを提供し、利用者の方々が地域と関わりも持ち続けられるよう、私たちも日々精進していきたいと思っております。



自宅の玄関の段差やあがり框の昇り降りの練習をしています。必要に応じて玄関に手すりの設置や福祉用具の使用を提案させていただきます。



目的に合わせて、外を歩く練習をしています。利用者の方の歩く状態に応じて、杖やシルバーカーなどの歩行補助具の使用を提案させていただきます。

## 地域の医療機関 **かかりつけ医** との連携を推進しています!!

地域の医療機関(かかりつけ医)と連携しながら治療を行います!より安心・安全な医療の提供にむけて、患者様1人に対し、当院の医師と地域の医療機関(かかりつけ医)が互いに連携しながら共同で継続的に治療を行います。

### 「かかりつけ医」を持つメリット

待ち時間が比較的にかからずにじっくり診察してもらえる。

症状の安定した慢性疾患や生活習慣病の治療・お薬の管理をしてもらえる。

ご自分の病状や病歴、健康状態を把握しているので、もしもの時に素早い対応をしてもらえる。

検査や入院が必要な場合は、適切な病院、専門医を紹介してもらえる。

**紹介** とは、入院や専門的な治療が必要になった場合に「かかりつけ医」の先生から当院へ紹介していただくこと。

**逆紹介** とは、当院から、地域の医院・診療所などの医療機関に紹介すること。



東京品川病院では、「かかりつけ医」をお持ちの方は、積極的に「かかりつけ医」へご紹介させていただきます。また、「かかりつけ医」をお持ちでない方にも、患者様のニーズに合わせて「かかりつけ医」のご紹介を、積極的にこなっております。正面玄関にて「かかりつけ医リーフレット」を準備しておりますので、お気軽にご相談ください。

## 出前健康教室報告

### 2020.1.17 出前健康教室



品川郵便局の女性職員様を対象に、品川郵便局にて、出前健康教室を開催しました。乳腺外科部長 福内敦医師による『乳がん・婦人病全般の予防と健診』の講演を行いました。近年では、乳がんの発症が年々増えており、女性のがんで最も多い疾病です。乳がんの発症リスクは、遺伝的素因、環境的素因など何か一つの理由で発症することはないので、発症のリスクを知ることで、早期発見、早期治療に結び付けることもできます。定期的に健診を受け早期発見に心がけていくことはもちろん、日ごろから適度な運動を行い、健康寿命を延ばしていくことが大切です。

高齢者クラブ 西五反田すみれ会様を対象に、大崎第一地域センターにて、出前健康教室を開催しました。歯科口腔外科 和智宏太郎医師が『口の中を守ろう』を、摂食嚥下障害看護認定看護師 横山敬子看護師が『お口の働きと食事について～誤嚥性肺炎の予防～』について講演を行いました。歯と舌の磨き方とお口の中の保湿方法を覚え、お口を綺麗にすることで歯周病や虫歯になりにくくなり、口臭をなくすることができます。お口の健康を保つことが身体の健康につながるの、様々な病気を予防することができます。誤嚥性肺炎を予防するには、日頃から栄養状態を維持して体力と免疫力をつけること、口腔ケアを十分に行い口腔内を清潔に保つことで感染のリスクを減らすことができます。食事は、飲み込みやすい形状に調理し、姿勢にも気を付けて食べることで誤嚥のリスクを減らすことができます。

### 2020.2.8 出前健康教室



東京品川病院は、各自治会、企業様に伺い、講師が分かりやすくお話しする出前健康教室を開催しております。当院のホームページからも出前健康教室の詳細をご覧いただけますので、皆様からのお申込みをお待ちしております。

次号より、地域の連携医療機関をご紹介します。

1  
Vol.